



このコーナーは、HTML、CSS のことならなんでもおまかせの「マリー」と、うさぎ界 No.1 とも言われているデザイナー「ナムー」が、WEB ページ作成のコツを解説していきます。少し専門的な内容も含まれていますが、分からないことは積極的に調べて、1つ1つスキルアップをしていきましょう！



マリー

HTML、CSS のプロフェッショナル。うさぎだけど好きなブラウザは Fire Fox。



ナムー

うさぎ界を知り尽くした凄腕デザイナー。うさぎだけど好きな野菜はセロリ。



「う～ん、どうもうまく撮影ができないなあ。。。自分のサイトに掲載する写真となると、どうしてもカんでしまっとうまくいかないや。」



「お？ペタ郎くん、商品画像を自分で撮影しているの？スゴイじゃない！オリジナルな画像があるとサイトは魅力的になるよね！」



「これはアフィリエイト用のレビューブログの商品撮影なんだ！でも、綺麗な写真が撮れなくて、実は困っていて・・・グスン」



「じゃあ今日は、商品画像の綺麗な撮影の仕方を勉強してみようか！ちょっとしたコツやテクニックで、とっても魅力的な商品写真が撮れるようになるんだよ！」



「やったー！ ナムーが撮る写真は、いつもとても綺麗だよね！ボクもナムーの写真撮影テクニックをマスターしたいなあ！ナムー、マリー、今日もヨロシクお願いします！」

今回のページ作成講座は、来月号とあわせて2回にわたり、ドロップ SHIPPING の商品詳細ページや、アフィリエイトのレビューブログなどで利用する、効果的な「**商品画像**」の撮り方・作り方を解説していきます。

◆ 心をつかむ商品画像を作ろう！ ◆

～ 【前編】商品写真撮影のコツ 編 ～

前編となる今回は、WEBサイトで利用する商品写真の、効果的な撮影のコツを解説していきます。大きく以下の4ステップで説明をしていきますので、しっかりとついてきてくださいね！

★ 商品写真撮影の4ステップ ★

1. 撮影する商品を決定する。
2. 掲載時のシチュエーションを決める。
3. 商品画像の背景を決める！
4. 写真撮影をする（コツとテクニック&裏技）

1. 撮影する商品を決定する。

まずはじめに、**撮影する商品を選びます**。これは、実際に売りたい商品、紹介したい商品で、且つ実際に手元に入手できる商品が必要です。

例として今回は、もしもドロップ SHIPPING で取り扱いのある、【 **Vivienne Westwood (ヴィヴィアン ウェストウッド)** 】の長財布を選んでみました。



○Vivienne Westwood 長財布

LOGOMANIA 32159 色：ブラック

< Vivienne Westwood の長財布 >

https://www.moshimo.com/shop/articles/detail?article_id=499174

2. 撮影時のシチュエーションを決める

次はどのようなシチュエーションの画像を用意すると、高い購買率につながるのかを意識して考えていきましょう。

今回の例であれば、『Vivienne Westwood を購入したい人はお洒落を意識して
いて、同じような商品もかなりチェックしているはずなので、商品を際立たせ
る効果のある演出が良いかも！』等々といった感じですね。

撮影する商品を購入する人は、どういった人なのだろう？ と、**具体的な人物像を思い描いて考えると**、想像しやすいと思います。

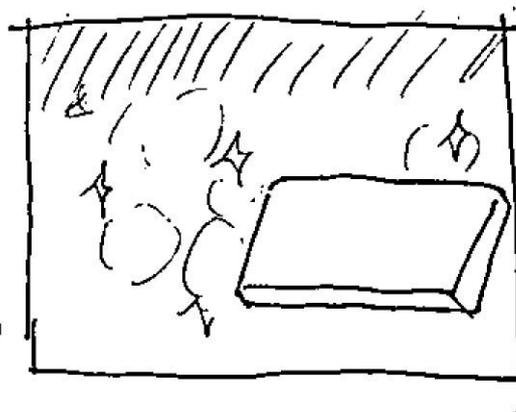
頭に思い描いた購買対象の人物像に響くシチュエーションを思い浮かべながら、商品写真の構図を考えていきましょう！

3. 商品画像の背景を決める！

それでは実際の撮影準備をしていきましょう！まずはどんな写真を撮影するのか、2. で考えたシチュエーションと合わせて想像をしてみてください。

<< 撮影イメージを紙に書いてみる >>

- 全体的に
ダークな背景
- うしろに
キラキラした光
- 夜(にぎやか)



このように、まず絵を描いてみると、具体的なイメージが湧きやすいと思います。上手く描く必要はないので、絵が苦手でも気軽に TRY してみてください。

でも、この商品画像をつくるとすると、商品の撮影をした上で、背景を切り抜いて、他の写真と合成して・・・と、ちょっと大変そうですね。。

そこで今回は、**予め背景画像を印刷しておいて、それをバックにして商品写真を撮影する方法**を採用したいと思います。

この方法であれば、パソコンで難しい画像合成をする必要もありませんので、画像ソフトの扱いが苦手な人にもオススメできる時間短縮テクニックです。

今回利用する背景画像は、以下の画像を使いたいと思います。ファイルサイズが大きいのですが、その方が紙に印刷して利用する場合には便利です。

◆light_bokeh1.jpg

<http://morguefile.com/archive/display/723309>



この画像は「**abstract**」というキーワードで検索して発見しました。この種のイメージは他にも「**bokeh**」や「**blur**」などの単語で検索できます。

それではさっそく背景を作成していきましょう！

ダウンロードした素材を、本ページ作成講座でおなじみのツール【 **Paint.net** 】

で少し色調を変更して、そのまま印刷・利用できる状態にしていきます。

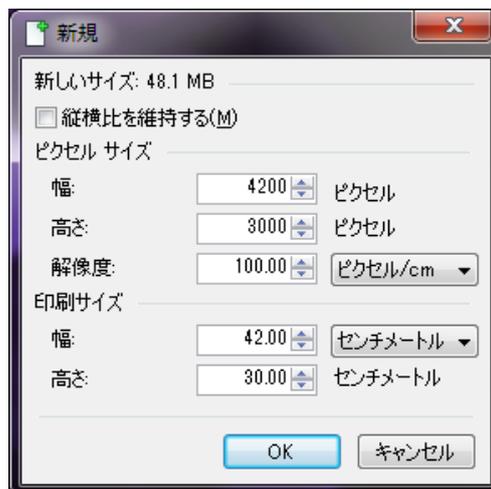
「**Paint.NET**」の基本的な使い方は、下記のURLより資料をダウンロードして、
マスターしておいて下さいね！

◆ページ作成講座「Paint.NET」基礎編

https://www.moshimo.com/download/mary_namu_image.zip

1. 背景画像のサイズを設定

背景の印刷サイズを決めて、画像サイズを設定します。今回は少し大きめのA3サイズで印刷したいので、右記のサイズに合わせました。商品のサイズにあわせて、画像のサイズは適宜変更をしてください。



今回は【 **解像度 : 100** 】 → 【 **印刷サイズ幅 : 42 センチ** 】 → 【 **高さ : 30 センチ** 】の順番で編集しました。

【参考】紙のサイズ表（単位：ミリ）

A3 : 297 × 420 / A4 : 210 × 297

B4 : 257 × 364 / B5 : 182 × 257

<http://www.terra.dti.ne.jp/~ono2/design/paper.html>

2. ダウンロードした背景画像を読み込む

新規作成したキャンバスに新しいレイヤーを作成し、ダウンロードした背景画像を読み込みます。背景画像を新しいレイヤーに読み込んだら、先程設定したキャンバスの大きさに合わせて、背景画像の位置を調節しておいてください。

3. 色合い / 鮮やかさを調整

【調整 > 色合い / 鮮やかさ】を選択

して、右図の数値を設定してみます。

画像の微調整は個人の好みもあるので、



是非いろいろと試して、好きな背景画像に調整をしてみてください。もちろん、

ダウンロードしたままの画像をそのまま利用いただいても結構です。

背景画像が綺麗に調整できたら、画像を保存して印刷します。

ご自宅にプリンターがない方や大きなサイズの印刷ができない方は、セブンイレブンの【 **マルチコピー機** 】の文書プリントサービスが便利です。

下記 URL に掲載されているメディアに画像データをコピーして持参すれば、サイズを指定した印刷ができます。

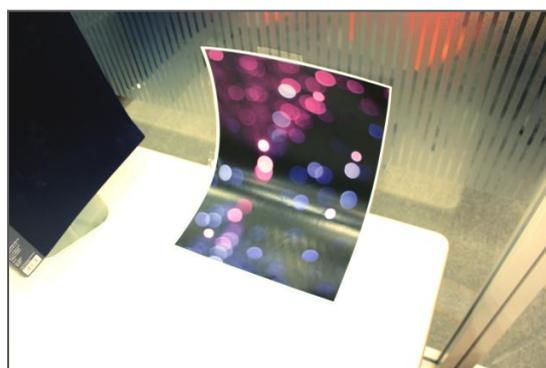
http://www.sej.co.jp/services/print_document.html

※セブンイレブン以外のコンビニエンスストアでも同様のサービスがあります。

4. 写真撮影をする（コツとテクニック&裏技）

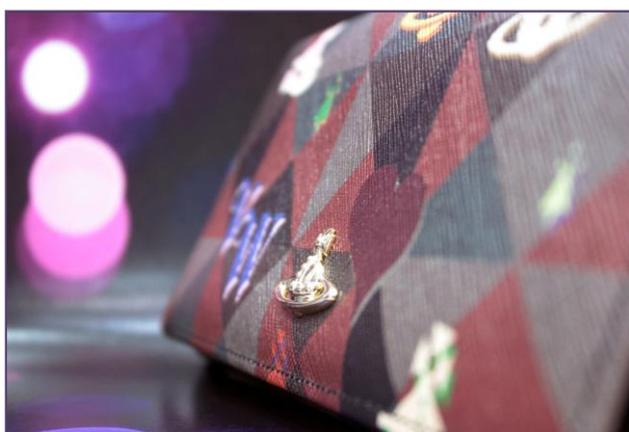
いよいよ**商品画像の撮影を開始**します。下準備として、セロハンテープをつけて、先程作成して印刷した背景画像を撮影場所の壁に貼ってみましょう。

撮影方向に応じて、背景画像を横に貼ったり、縦にはったりして、いくつかバリエーションを確認しておきましょう。



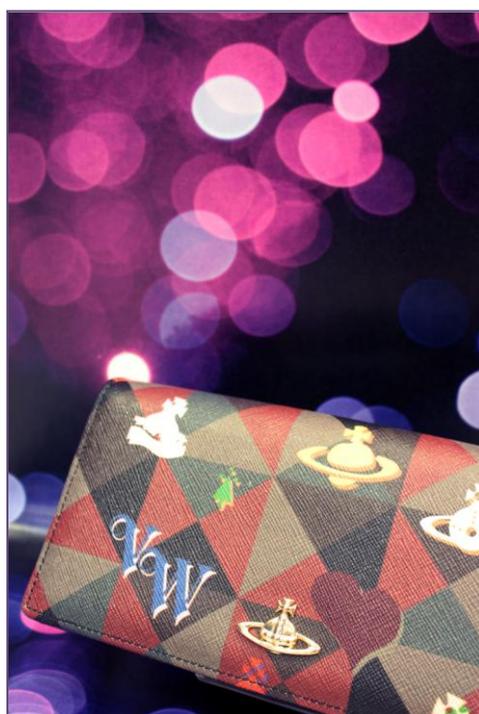
今回は印刷した背景画像を縦に配置して床までカバーすることで、全体的に背景を生かす形で撮影してみたいと思います。

それではデジタルカメラの『**接写モード**』（ほとんどのデジタルカメラで、チューリップの絵のついた撮影モード）で撮影してみましょう。



いかがでしょうか？

印刷した背景を使って撮影したとは思えない、雰囲気の良い写真に仕上がりましたね。



接写撮影の際は撮影位置によって背景のぼかし方も変わってくるので、いろいろな角度で試してみると面白いと思います。是非チャレンジしてみてください。

◆ **撮影時のポイント** ◆

1. 接写モードで商品にピントを合わせて撮影する。
2. フラッシュは使わない。(フラッシュライトが反射してしまう為)
3. ホワイトバランス変えて何枚か撮ってみる。(明るさの調整)
4. 手ぶれが気になる場合は両肘を机に固定して撮影する。
5. 「斜め撮影の法則」を知る。

5. の「斜め撮影の法則」とは、商品画像の撮影においては、商品を少し斜めにして角度をつけて撮影することで、商品をより洗練された感じに見せることができる法則です。商品撮影においては、「真正面ではなく、少し斜め！」を意識して、撮影を行うようにしましょう。

次に外箱も含めた商品画像の撮影にトライします。

この長財布は外箱（化粧箱）と内側の包装紙に包まれていましたが、そのまま開封したものを撮影してもあまりパツとはしません。



そこでここでも、「斜め撮影の法則」をつかって、外箱と包装紙、商品に各々角度をつけて、少し崩して撮影をしてみました。



如何でしょうか？ずいぶん印象が変わったと思います。

今回の商品画像の撮影ポイントは、

- ◎商品全体が映っている必要はない。特徴がわかれば十分。
- ◎包装紙にもブランド・ロゴが入っている、、、等の追加情報を生かした。
- ◎綺麗な化粧箱に包まれていることもアピールした。
- ◎背景を黒にすることで、包装紙の色調が映える配色で撮影した。

という点が挙げられます。

背景に利用するものは**カーテン**や**洋服**など、家の中にあるもので代用可能ですが、別途 1メートル四方の白と黒の布があると、かなり重宝すると思います。

今回は小物を立てるためのスタンドも利用しましたが、こちらも**家にあるもので代用可能**です。撮影角度で見えなくすることもできますから、プラスチック・金属の場合は両面テープで見えない位置に固定することをオススメします。

布・紙製品の場合は商品を傷める可能性もあるので注意が必要です。

今回撮影時に利用した背景の黒い布や商品スタンドなどは、楽天市場やAmazon.co.jp、東急ハンズなどの量販店でも扱いがあります。撮影用機材売り場などで安価に手に入るものもありますので、探してみるのも良いでしょう。

綺麗な商品画像を撮影する一番のコツは、物販サイトの様々な商品画像をよく観察してみることです。自分が気に入った商品の画像は、どんなシチュエーションで、どんなアングルで、どんな背景で撮影されているのか？普段からこういった事に興味をもつと、さまざまなアイデアが生まれやすいと思います。

「この商品はどうして魅力的に見えるのだろう？」という疑問を持ちながら商

品写真をみつめると、必ず新しい発見があると思います。

さて次回は、今回撮影した写真に【 **Paint.NET** 】でひと工夫加えることで、

更なるレベルアップを目指したいと思います！どうぞご期待くださいね！



「おお～。このアングルで撮ると、何故だかカッコ良く商品写真が撮れるなあ～。『**斜め撮影の法則**』はスゴイ！！！」



「次回は綺麗な商品画像をつくるシリーズの後編だよ！撮影した写真にひと手間加えて、もっと効果的な商品画像をつくってみよう！」



「また次回も楽しみだなあ～。今からワクワクしちゃうよね！」

おしまい